

富山市センサネットワークを活用した実証実験 - 利用ガイド -

富山市スマートシティ推進課

令和7年5月1日

目次

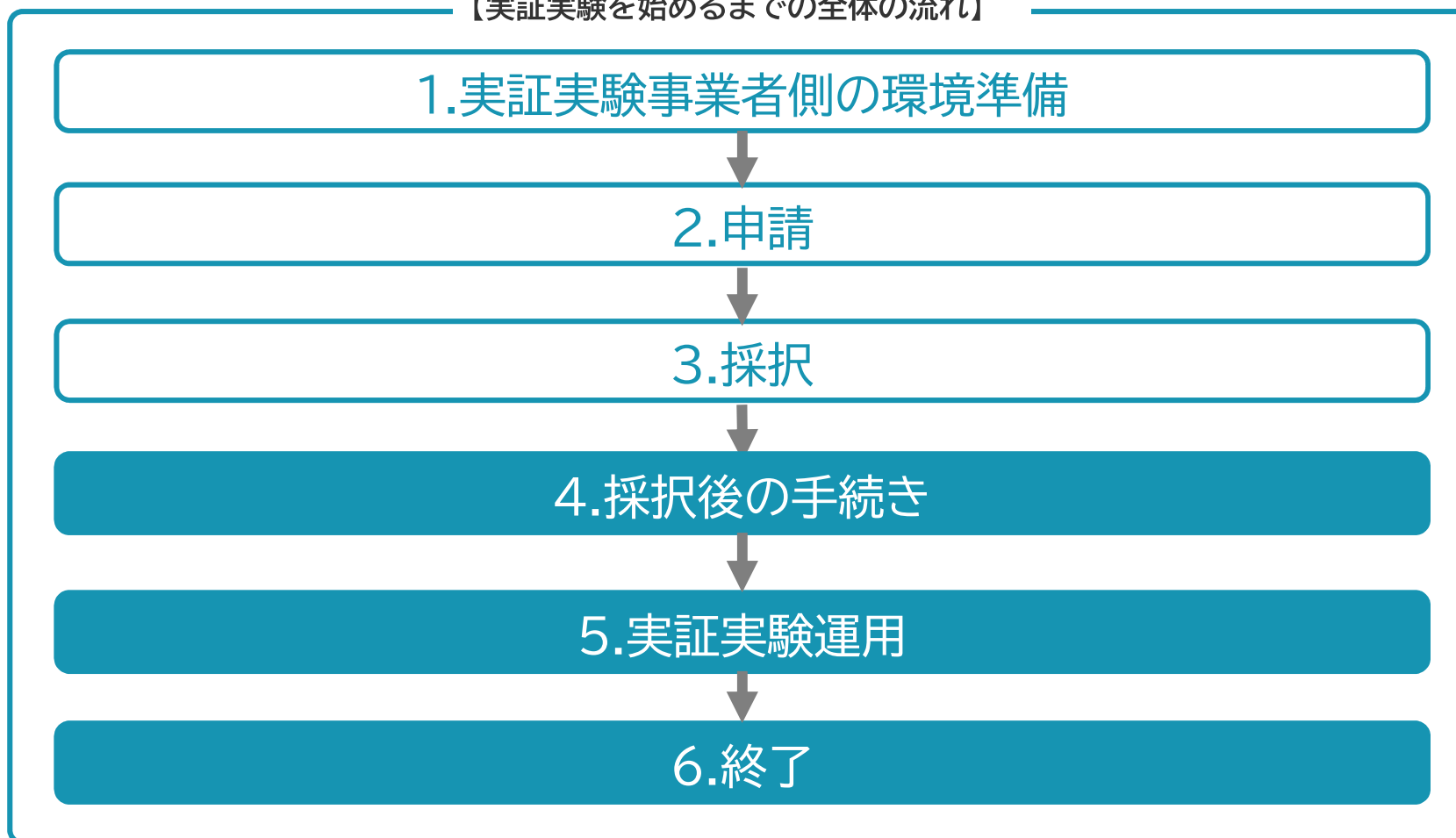
- 1. はじめに
 - 1-1. 本書について
- 2. 富山市センサネットワークについて
 - 2-1. 富山市センサネットワークについて
 - 2-2. システム構成
 - 2-3. 各サービスについて
 - 2-4. データ活用サイトについて
 - 2-5. FIWARE-APPについて
 - 2-6. 公開APIについて
- 3. 採択後の手続きについて
 - 3-1. 採択から実証実験実施までの流れ
 - 3-1-1. 申請書の提出
 - 3-1-2. 環境接続
- 4. 実証実験事業中の運用について
 - 4-1. センサの追加
 - 4-2. ユーザアカウントの追加
 - 4-3. ユーザパスワードの変更
 - 4-4. データ活用サイトの表示設定の変更
 - 4-5. メール通知の設定
- 5. 年度途中の実証実験終了について
 - 5-1. システム利用終了申請を行う
- 6. 操作マニュアル・ガイド一覧
- 7. 各種申請書の提出・お問い合わせ先

1. はじめに

1-1. 本書について

富山市センサネットワークで実証実験を行う際の実証事業者向けのガイドです。
本書では、採択後の手続きから実証実験の運用・終了まで説明します。

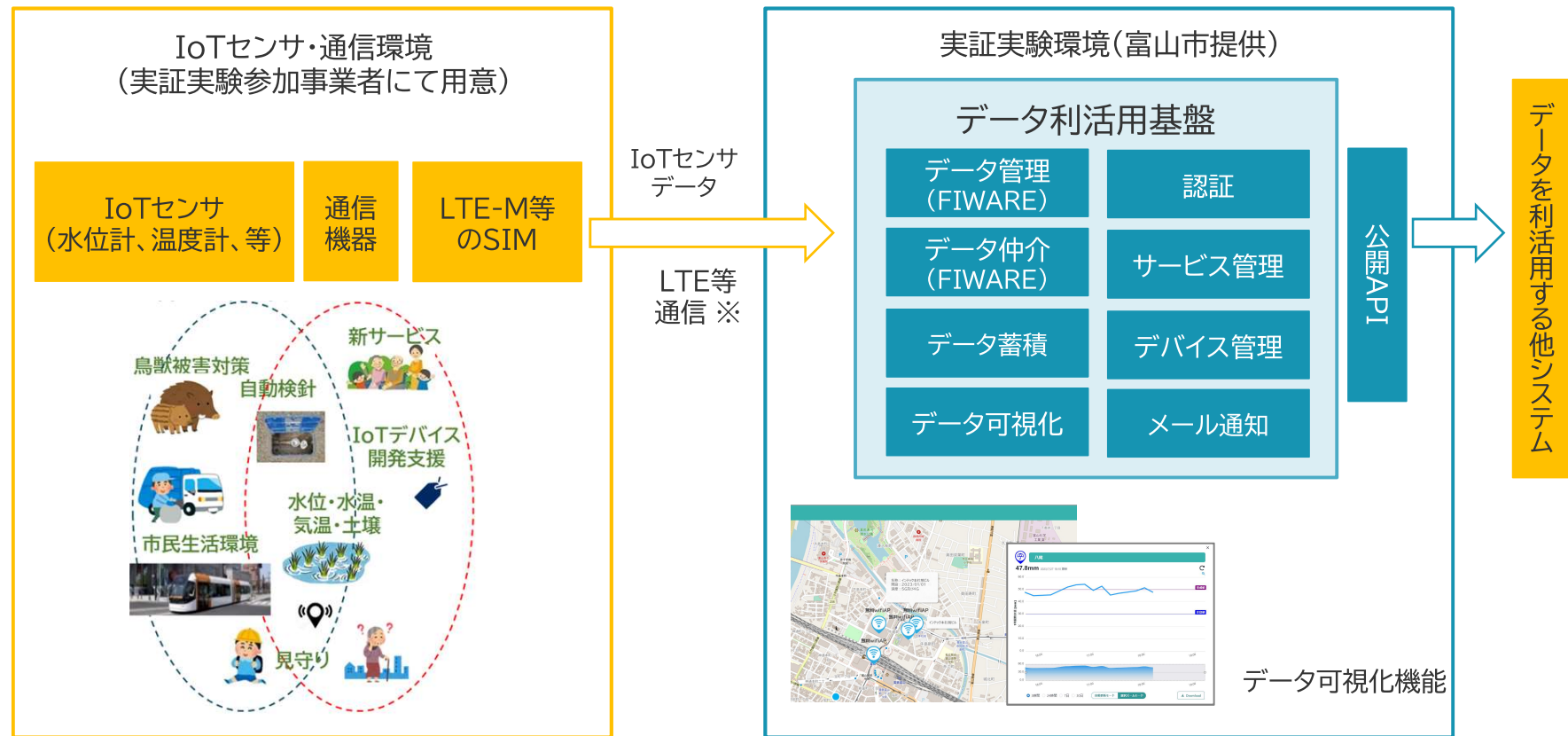
【実証実験を始めるまでの全体の流れ】



2. 富山市センサネットワークについて

2-1. 富山市センサネットワークについて

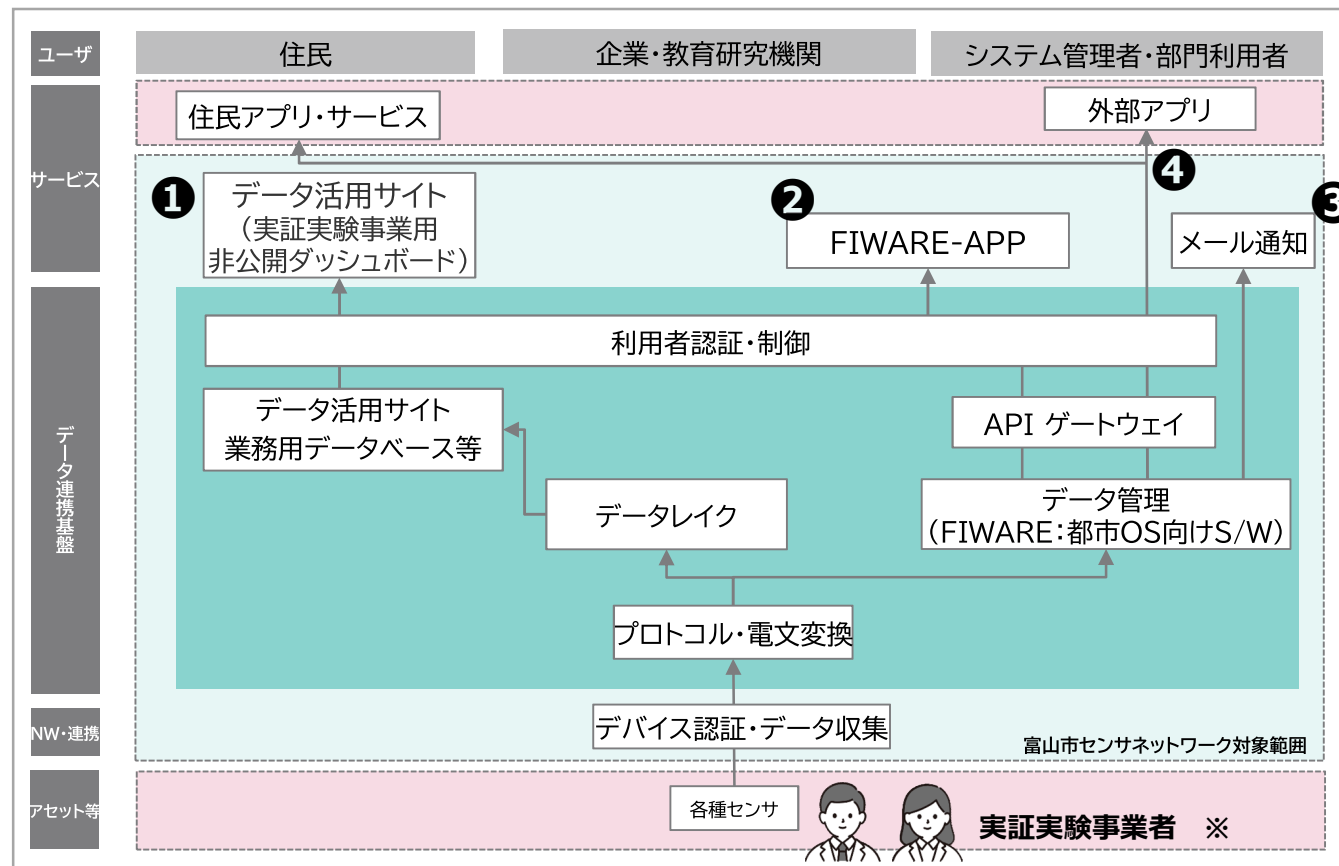
富山市センサネットワークでは実証実験環境としてデータ蓄積や仲介、可視化等の機能を有する「データ利活用基盤」を提供します。事業者様では、IoTセンサと通信環境(通信機器やSIM等)をご用意ください。通信キャリアは問いません。本書に記載の仕様を事前にご確認の上、選定してください。



- … 事業者様にご用意いただく範囲
- … 富山市がご提供する範囲

2-2. システム構成

富山市センサネットワークが提供するデータ利活用基盤は以下のシステム構成となっています。
実証実験で利用できるデータの可視化等のサービスは①～④です。
次ページで各サービスについて紹介します。



※センサおよび通信回線は事業者様にてご準備いただきます。

富山市センサネットワークを活用した実証実験公募事業

2-3. 各サービスについて

実証実験事業でご利用いただけるサービスは下記のとおりです。

	サービス	機能概要
①	データ活用サイト	センサデータやオープンデータをグラフや地図上で表示するサービスです。 実証実験事業用の非公開ダッシュボードとして使用します。
②	FIWARE-APP	FIWAREを介して登録されたデータの参照、各センサに対する設定(メール通知等)を行うサービスです。 疎通確認やセンサの稼働状況を確認する際にご利用いただけます。
③	メール通知	受信したデータが、あらかじめ設定した条件に合致した場合に、メールで通知します。設定は②のFIWARE-APPで行います。
④	公開API	FIWAREを介して登録したデータを、外部のアプリへ連携するためのAPIを提供します。

2-4. データ活用サイトについて

実証実験事業ごとに非公開のダッシュボードを提供します。

データ活用サイトには「map」表示と「dashboard」表示の2種類あります。

「map」表示では地図上でセンサのグラフや状態を確認することができます。また、グラフ表示しているセンサのデータを期間指定してCSV出力することもできます。

■「map」画面



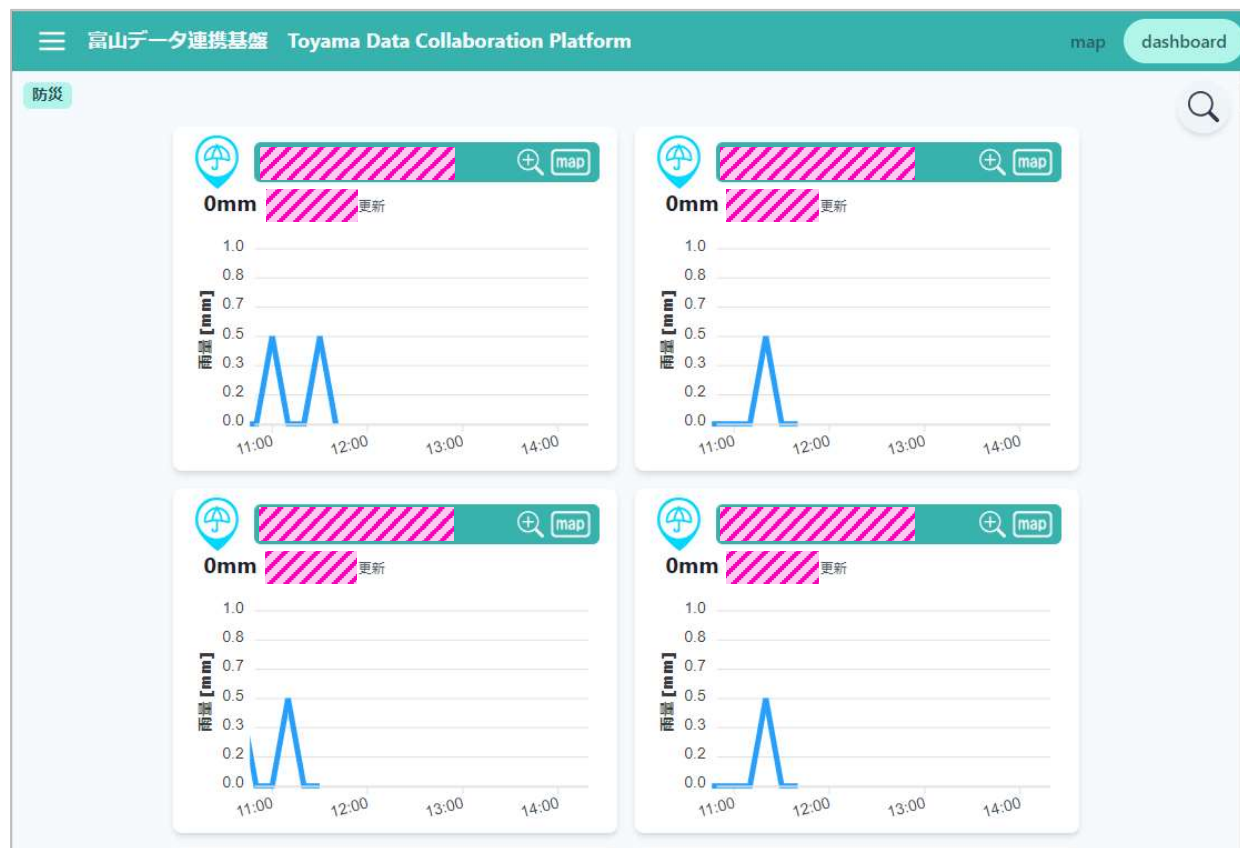
■グラフ表示



2-4. データ活用サイトについて

「dashboard」表示では各種センサのグラフ表示を並べて確認することができます。

■「dashboard」画面



2-5. FIWARE-APPについて

FIWARE-APPでは、FIWAREを介して登録されたデータの参照、各デバイスに対するメール通知の設定を行います。

データの疎通確認やセンサの稼働状況を確認する際にご活用いただけます。

メール通知ではメール通知の発砲条件と宛先を設定します。

■FIWARE-APPの受信データ確認画面

FIWARE-APP Home リロード 戻る ログアウト	
ID	
Type	
デバイス名	
緯度	
経度	
地図	リンク
降雪量 (cm)	2
積雪深 (cm)	12
気温	1.1
欠損フラグ	0
メール通知	●有り ○無し
更新日時	

■FIWARE-APPのメール通知設定画面

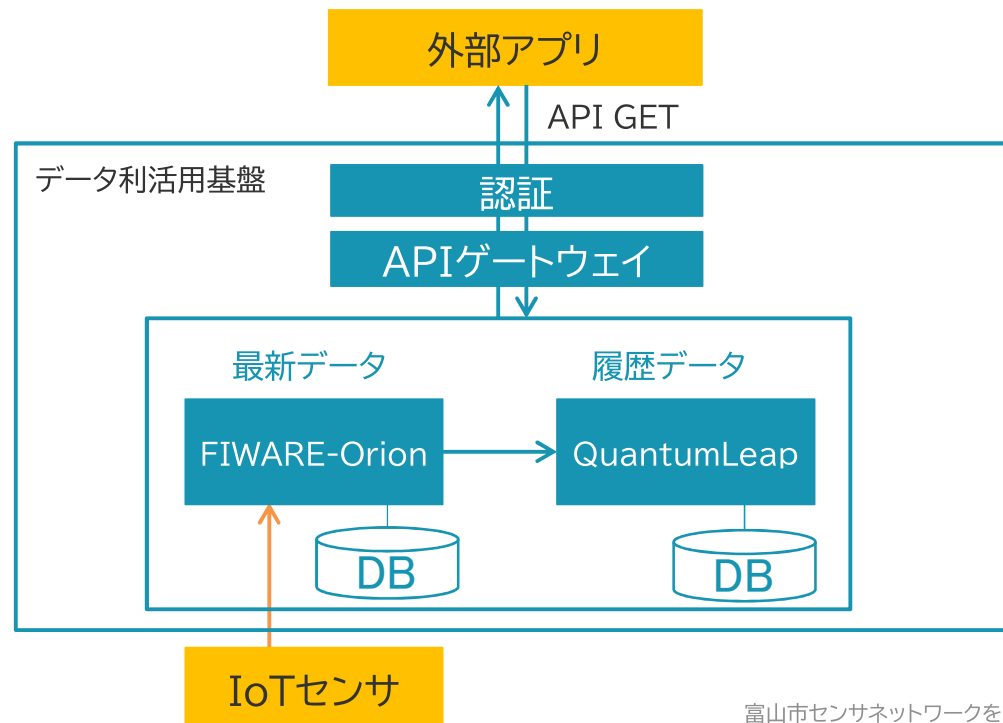
FIWARE-APP Home リロード 戻る ログアウト	
メール通知設定	
通知設定名	水位メール通知
状態 (有効/無効)	有効
条件設定	判定式 最新水位 (m) ≥ 0.8
	結合条件 AND (すべての条件に一致)
	送信条件 該当/非該当に変更があったとき送信
	送信停止時間 0 分
送信元アドレス	

2-6. 公開API について

センサのデータは、FIWAREの Orion Context Broker を介して蓄積されます。このデータを外部のアプリへ連携するためのAPI（公開API）を提供します。

公開APIには、**最新データを取得するAPI(Orion)**と**履歴データを取得するAPI(QuantumLeap)**があります。

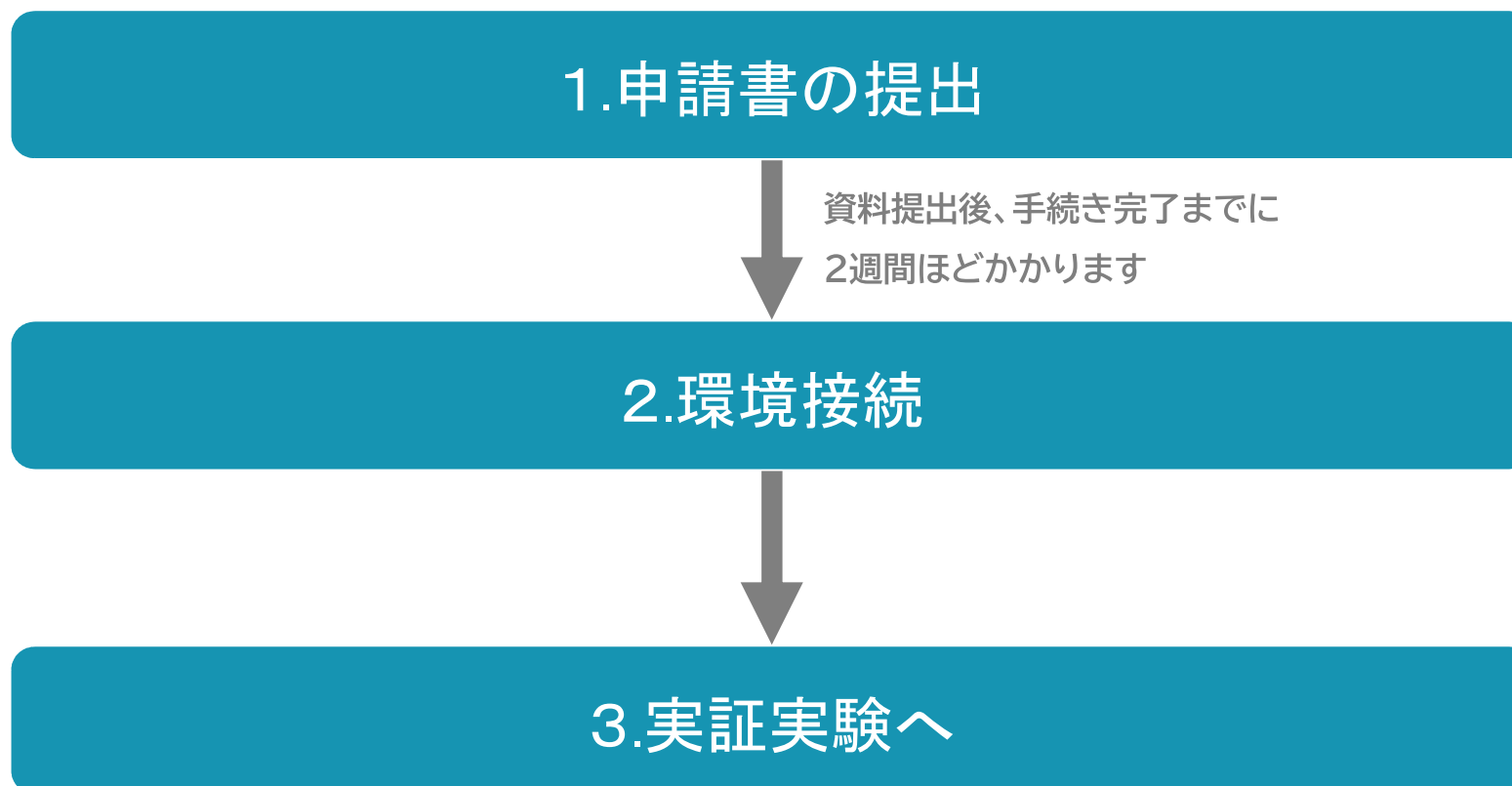
なお、QuantumLeapで取得する履歴データは、サービスの計画停止や障害発生に伴い一部に欠損が発生する場合があります。欠損したデータは再登録すると、FIWAREの仕様により、再登録した日時での登録となるため、基本的に再登録は行っておりません。



3. 採択後の手続きについて

3-1. 採択から実証実験実施までの流れ

採択されてから事業者の方が行う作業は次の通りです。



「1.申請書の提出」「2.環境接続」について、次ページより詳細を説明します。

3-1-1. 申請書の提出

1. 申請書の提出

提出する資料はすべて「富山市センサネットワーク各種申請書(Excel)」にあります。
各申請の案内と記入例に沿って記入してください。

申請書は富山市スマートシティ推進課(※)にメールで提出してください。

■必ず提出する資料(4種類)

- ①システム利用申請書
- ②ユーザアカウント利用申請書
- ③ダッシュボード表示設定書
- ④インタフェース仕様書

■必要に応じて提出する資料(1種類)

外部アプリケーションと連携したい場合

- ①外部アプリケーション利用申請書

※本書「7. お問い合わせ先」参照

3-1-1. 申請書の提出

1. 申請書の提出

●システム利用申請書

(目的)

利用者情報及び各種案内先を把握するため

(詳細)

実証実験に関する連絡の担当者となる方の
記載をお願いいたします。

富山市センサーネットワーク システム利用申請書

富山市センサーネットワークの利用申込をいたします。

申請日： 年 月 日

○申請者情報

入力項目	申請区分		申込種別を選択してください。 選択すると入力必要項目のマスクが外れます。
	フリガナ		
	会社名		
	郵便番号		
	フリガナ		
	担当部署		
	フリガナ		
	ご担当者名		
	電話番号		
	メールアドレス		各種問合せ時の連絡先として登録されます。
	解約希望日 ※1	年	月以降
	収集データのオープンデータ化		
	一部提供可能なデータの詳細		
収集データの提出方法			

※1 解約希望日を記載していただいてもその日に解約がされるとは限りません。解約希望日以降に解約処理を実施します。

3-1-1. 申請書の提出

1. 申請書の提出

●ユーザアカウント利用申請書

(目的)

システムのユーザ登録に必要な情報を把握するため

(詳細)

実証実験で各種サービスを使用される方の氏名、メールアドレスをご記入ください。

ユーザ権限は編集用と参照用の2種類あります。各ユーザを必要なグループ、権限に分けてください。

富山市センサーネットワーク

ユーザアカウント利用申請書

■ ユーザ情報記入

編集用、参照用それぞれのユーザの情報を記入してください。

※ユーザ追加について、ユーザを発行すると各メールアドレス宛に初期パスワードが送信されます。

メールを受信してから7日以内にパスワードの変更をお願いします。

○グループ・ユーザ - 1 -

入力項目	申請区分			
	グループ名	※運用の関係上、名称が変更になる可能性があります		
	権限	編集用		
	申請区分	氏名(姓)	氏名(名)	メールアドレス(アカウントID)

グループを複数作成する場合は、以下にご自由に枠を追加し記入してください。

○グループ・ユーザ - 2 -

入力項目	申請区分			
	グループ名	※運用の関係上、名称が変更になる可能性があります		
	権限	編集用		
	申請区分	氏名(姓)	氏名(名)	メールアドレス(アカウントID)

3-1-1. 申請書の提出

1. 申請書の提出

●ダッシュボード表示設定書

(目的)

ダッシュボード表示(データ活用サイト)の
初期設定に必要な情報を把握するため

(詳細)

データ活用サイトでセンサデータを可視化する
際に必要なグラフの表示方法に関する設
定情報を記載いただきます。

富山市センサーネットワーク ダッシュボード表示設定書

■ダッシュボード表示設定情報記入

ダッシュボード表示設定情報を記入してください。

なお、本設定書で設定する内容は初期設定です。

設定を変更する場合は、ダッシュボードの設定画面から変更可能です。

※センサ種類に応じて富山市スマートシティ推進課にて追加の設定を行う可能性があります。

その場合、申込完了時、本申請書に項目を追記し送付いたします。

○メニュー設定 **オレンジ文字**：デフォルト設定です。任意の項目に変更したい場合は変更してください。

入力項目

申請区分	変更					
メニュー名	スマートシティ推進課にて決定いたします。 申込完了時、本申請書に項目を追記し送付いたします。					
ダッシュボード表示タイプ	map表示とdashboard表示					
一般公開（変更不可）	非公開 ※「公開」設定にすると市民に公開されますのでご注意ください					
地図中心座標	緯度	36.695			経度	137.213
位置情報取得	有効（メニュー展開時）のみ					
位置情報取得範囲	緯度	北	37.00		南	36.25
	経度	東	137.80		西	136.70
ズームレベル	PC・タブレット	12			スマートフォン	12
権限設定 ※ フル権限：メニュー、レイヤ、アイテムの編集可 アイテム編集：アイテムのみ編集可 参照：参照のみ、編集不可	グループ名				権限	
	グループ名				権限	
	グループ名				権限	

○レイヤ設定

入力 項目	レイヤ名	アイコンラベル	権限設定
	スマートシティ推進課にて決定いたします。申込完了時、本申請書に項目を追記し送付いたします。		

○アイテム設定 **オレンジ文字**：デフォルト設定です。任意の項目に変更したい場合は変更してください。

同一データモデルのセンサーの場合はアイテム設定は1つで結構です。

水位計と雨量計など、センサー種別、データモデルの違うセンサーの場合はアイテム設定は2つ必要です。

○アイテム設定 - 1 -

申請区分	
アイテム名	※同一設定のセンサーが2個以上の場合は 「詳細」シートにご記入ください

3-1-1. 申請書の提出

1. 申請書の提出

● インタフェース仕様書

(目的)

センサデータをFIWAREを介して登録する際の
データモデルの定義を決めるため

(詳細)

センサから送られてくるデータの項目名、
データ形式、データ送信頻度とダッシュボード利用
に関して記載いただきます。

富山市センサーネットワーク										
インタフェース仕様書										
■ 連携仕様										
連携仕様について下表に従って記載してください。										
論理名										
データ計測間隔 (センサーでデータを計測する時間の間隔)										
データ送信間隔 (センサーからデータを送信する時間の間隔)										
データ送信件数 (一度の送信でセンサーから送られるデータ件数)										
■ 権限設定										
FIWARE-APPでFIWAREに登録されたデータの確認、各デバイスに対するメール通知を設定するための権限設定を行います。										
権限は「ユーザアカウント利用申請書」で作成したグループ単位で割り当てます。										
メール通知設定を編集する場合は「編集可能」権限が必要です。										
グループ名		権限								
■ 連携項目										
連携項目について下表に従って記載してください。また、POST bodyの例も記載してください。										
ペイロードデータを送信する場合は、変換仕様書を添付もしくは本設計書にシートを追加し変換規則をご記入ください。										
No.	連携項目					データモデル定義設定		ダッシュボード設定		
	項目名	内容	データ型	データ例	備考	データモデル定義への登録有無	履歴蓄積	履歴登録トリガー	CSV出力	グラフ表示
1										
2										

【参考】

データモデル定義への登録有無：データモデル定義へ登録するかどうか。

履歴蓄積：履歴として蓄積するかどうか。

履歴登録トリガー：蓄積のタイミングを設定。
(トリガーに設定した項目の値に変更があったタイミングで履歴が蓄積されます)

CSV出力：ダッシュボードからCSV出力する項目の設定。

グラフ表示：どの項目をグラフ表示 (Y軸) とするかを設定。
(複数選択可能※Y軸は1つしか設定できないため複数選択された場合はそれぞれ別のグラフを作成します)

3-1-1. 申請書の提出

1. 申請書の提出

●外部アプリケーション利用申請書

(目的)

外部アプリケーションと連携を希望する場合の基本的な情報(利用者、リクエスト数)を把握するため

(詳細)

外部アプリケーションと連携する際のAPIのリクエスト数の想定を記載してください。

※上限は1,000件／日です。上限を超える場合はスマートシティ推進課へご相談ください。

富山市センサーネットワーク

外部アプリケーション利用申請

■ 外部アプリケーション情報記入

外部アプリケーションの情報を記入してください。

入力 項目	申請区分		
	想定リクエスト数 ※1	リクエスト件数 (件)	単位
		1,000	日

※1 デフォルト設定は1,000件/日です。もし、デフォルト設定を超える場合は富山市スマートシティ推進課へご相談ください。

APIキー

以下APIキーを使用してください。

APIキー
スマートシティ推進課にて決定いたします。 申込完了時、本申請書に項目を追記し送付いたします。

3-1-2. 環境接続

2.環境接続

「1.申請書の提出」を受け、富山市で環境を準備します。

環境が整いましたら、「富山市センサネットワーク各種申請書(Excel)」にシステムの利用開始・センサ接続に必要な事項を追記し申請者に返送いたします。

その後、以下の情報を基にシステムへのアクセスと環境接続を実施してください。

■ダッシュボード(データ活用サイト)へのアクセス

ユーザ発行のメール(仮パスワード記載)

■センサまたはシステムと連携(データを基盤へ送信する)

シート名:インターフェース仕様書(API送信先情報)

■外部アプリケーションと連携(データを基盤から取得する)

シート名:外部アプリケーション利用申請書(申込・変更)

3-1-2. 環境接続

■ ダッシュボード(データ活用サイト)へのアクセス

富山市がユーザ登録すると、件名「Intec IoT仮パスワード」のメールが各ユーザに送られます。
メールを受信されましたら、7日間以内に下記ダッシュボードへアクセスし、新しいパスワードを設定してください。
※ 仮パスワードの有効期限7日間が過ぎた場合はスマートシティ推進課へお問い合わせください。

ダッシュボード: <https://publicsite.tdcp.pref.toyama.jp/toyama16201/login>

はじめてログインするときの画面

データ活用サイト

ログイン

① ユーザー名

② パスワード

③ ログイン

- ①[ユーザ名]にメールアドレスを入力。
- ②[パスワード]にメールで届いた仮パスワードを入力。
- ③[ログイン]をクリック。

仮パスワードメール

データ活用サイト

パスワードを変える

④ パスワード

⑤ パスワードの確認

⑥ パスワードを変える

サインインに戻る

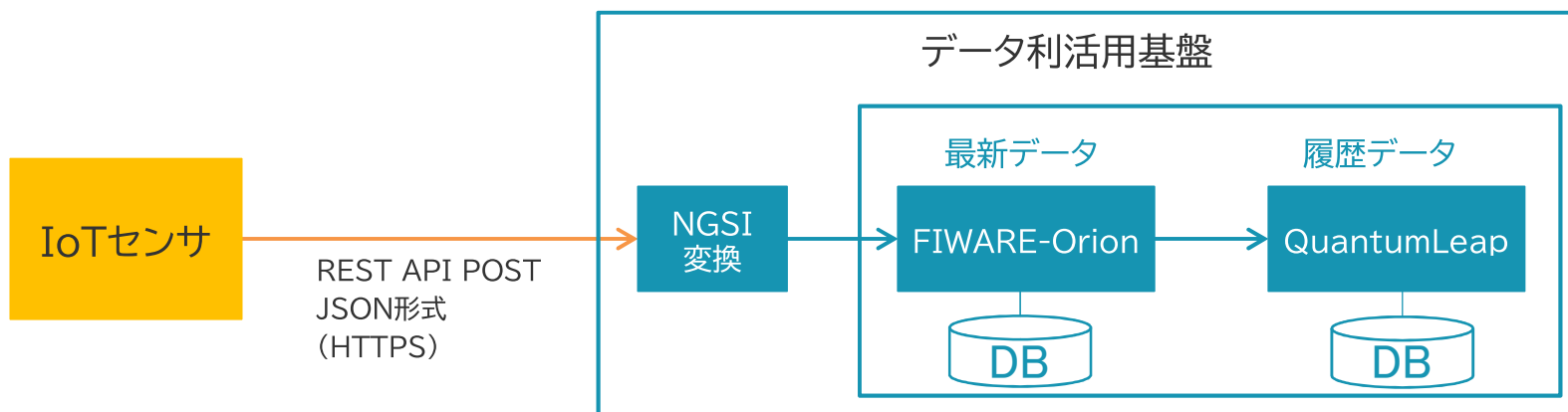
- ④[パスワード]に新パスワード(8文字以上で大文字、小文字、数字を含む)を入力。
- ⑤確認用に[パスワードの確認]にも同じ新パスワードを入力。
- ⑥[パスワードを変える]をクリック

3-1-2. 環境接続

■ センサまたはシステムと連携(データを基盤へ送信する)

データ利活用基盤へデータ送信する際の仕様は下記のとおりです。

- ✓ センサやクラウドサービスからデータ利活用基盤へ REST API でJSON形式でPOSTしてください。
- ✓ 通信プロトコルはHTTPSです。
- ✓ リクエストヘッダーにAPIキーを設定してください。
APIの情報は、申請書へ回答する際に富山市からご案内します。
- ✓ クライアント側はSSL証明書や公開鍵は不要です。
- ✓ NGSI は NGSI v2 のAPIをサポートしています。
- ✓ API の仕様は次ページを参照してください。



3-1-2. 環境接続

インターフェイス仕様書(API送信先情報)

データを送信する際の仕様は次の通りです。送信の際に必要なAPIキー等をご連絡いたしますので接続を実施してください。

■API仕様：基本情報

プロトコル	REST API (HTTPS)	
メソッド	POST	
データ形式	JSON	
URL		
	基本形	https://{アカウント名}-receive.{ドメイン名}/v1/{テナント名}/{データ種別}
	(例)	https://account123-receive.sample.com/v1/city99999/sample-device
URL		
	x-api-key	APIキーの文字列
	Content-Type	application/json
URL		
	JSONデータ ※要件に応じて個別に定義。送信可能なデータは128KBまで。	
レスポンス	ステータスコード	
成功	200	{"message":"OK","traceId":"a407fabcd747a-c030-346a-5fe349c247df"}
パス誤り	403	{"message":"Missing Authentication Token"}
認証エラー	403	{"message":"Forbidden"}
リクエスト制限超過	429	{"message":"Limit Exceeded"}

3-1-2. 環境接続

■リクエスト例

送信例

```
curl -iX POST ¥  
'https://account123-receive.sample.com/v1/city99999/sample-device' ¥  
-H 'Content-Type: application/json' ¥  
-H 'x-api-key: abcdefg1234567890xxx' ¥  
-d '{  
  "deviceid": "test_1",  
  "name": "送信試験テスト1",  
  "value": 150.2,  
  "dateLastValueReported": "2023-10-11T05:21:32"  
}'
```

3-1-2. 環境接続

■ 外部アプリケーションと連携(データを基盤から取得する)

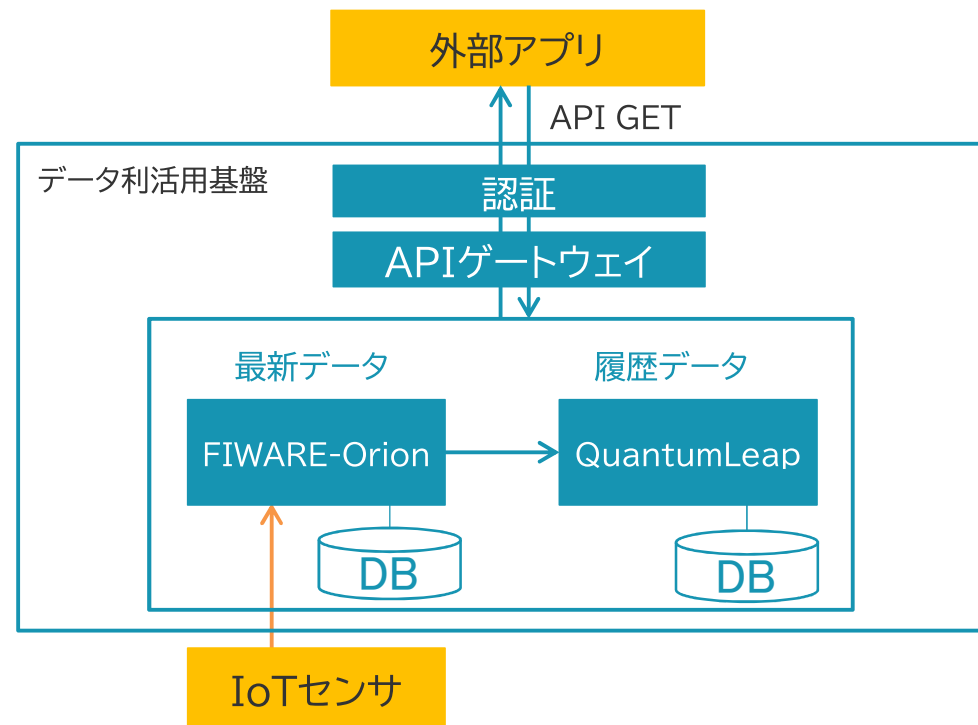
「2-6. 公開APIについて」のとおり、公開APIには、**最新データを取得するAPI (Orion)**と**履歴データを取得するAPI (QuantumLeap)**があります。

(注意事項)

QuantumLeapで取得する履歴データは、サービスの計画停止や障害発生に伴い一部に欠損が発生する場合があります。欠損したデータは再登録すると、FIWAREの仕様により、再登録した日時での登録となるため、基本的に再登録は行っておりません。

外部アプリからデータ利活用基盤へのリクエスト数は、上限を1,000件／日としています。上限を超える場合はスマートシティ推進課へご相談ください。

次ページにAPIの仕様を記載します。



3-1-2. 環境接続

■API仕様：基本情報

プロトコル		REST API(HTTPS)		
メソッド		GET		
データ形式				
	一覧、個別取得	JSON(NGSiv2形式)		
	履歴取得	JSON		
URL				
	一覧取得	https://toyama16201-open.tdcp.pref.toyama.jp/v2/{エンティティタイプ}/entities		
	個別取得	https://toyama16201-open.tdcp.pref.toyama.jp/v2/{エンティティタイプ}/entities/{エンティティID}		
	履歴取得	https://toyama16201-open.tdcp.pref.toyama.jp/v2/{エンティティタイプ}/entities/{エンティティID}/attrs/{属性名}		
リクエストヘッダー				
	x-api-key	「外部アプリケーション利用申請書(申込・変更)」シート参照。(申込完了後案内)		
レスポンスボディ				
	一覧、個別取得時			
		属性名	内容	
		id	エンティティID	
		type	エンティティタイプ	
		その他の属性	データモデル設計書参照	
	履歴取得時			
		属性名	型	内容
		attrName	文字列	指定した属性名
		entityId	文字列	指定したエンティティID
		entityType	文字列	指定したエンティティタイプ
		index	配列	QuantumLeapに登録された日時(ISO8601フォーマット)の配列 例:["2024-12-01T01:23:45.000+00:00","2024-12-02T01:23:45.000+00:00"] ※QuantumLeapの登録日時のためセンサ等の計測時刻とは異なります。 必要に応じてセンサ等の計測時刻の属性の履歴も取得してください。
	values	配列	QuantumLeapに登録された日時に対応する、指定した属性の値の配列 例:[123,223]	

3-1-2. 環境接続

■ リクエスト例

一覧取得時		
	送信例	curl https://xxxxxx-open.aaa.bbb.com/v2/TestType/entities ¥ --header 'x-api-key:xxxxxxxxxx'
	応答例	[{"id": "jp.xxx.yyy.zzz.TestType.device001","type": "TestType","name": {"type": "Text","value": "テストデータ1","metadata": {},"dateLastValueReported": {"type": "Text","value": "2024-03-01T12:34:50","metadata": {},"waterLevel": {"type": "Number","value": 1.23,"metadata": {}}},"id": "jp.xxx.yyy.zzz.TestType.device002","type": "TestType","name": {"type": "Text","value": "テストデータ2","metadata": {},"dateLastValueReported": {"type": "Text","value": "2024-03-01T12:33:44","metadata": {},"waterLevel": {"type": "Number","value": 0.5,"metadata": {}}}]

個別取得時		
	送信例	curl https://xxxxxx-open.aaa.bbb.com/v2/TestType/entities/jp.xxx.yyy.zzz.TestType.test001 ¥ --header 'x-api-key:xxxxxxxxxx'
	応答例	{"id": "jp.xxx.yyy.zzz.TestType.device001","type": "TestType","name": {"type": "Text","value": "テストデータ1","metadata": {},"dateLastValueReported": {"type": "Text","value": "2024-03-01T12:34:50","metadata": {},"waterLevel": {"type": "Number","value": 1.23,"metadata": {}}}

3-1-2. 環境接続

■ リクエスト例

履歴取得時		
	送信例	curl https://xxxxxx-open.aaa.bbb.com/v2/TestType/entities/jp.xxx.yyy.zzz.TestType.test001/attrs/waterLevel ¥ --header 'x-api-key:xxxxxxxxxx'
	応答例	{ "attrName": "waterLevel", "entityId": "jp.xxx.yyy.zzz.TestType.test001", "entityType": "TestType", "index": ["2024-12-09T03:26:35.190+00:00", "2024-12-10T03:26:36.299+00:00", "2024-12-11T03:26:37.203+00:00", "2024-12-12T03:26:38.001+00:00", "2024-12-13T03:26:38.864+00:00"], "values": [2.1, 2.5, 2.4, 2.2, 2.3] }

■ エラー時の応答例

レスポンス		ステータスコード	応答例
	パス誤り	403	{"message": "Missing Authentication Token"}
	認証エラー	403	{"message": "Forbidden"}
	リクエスト制限超過	429	{"message": "Limit Exceeded"}

4. 実証実験事業中の運用について

4. 実証実験事業中の運用

実証実験事業を実施中に想定されるシーンについて、申請方法や参照先を説明します。

1. センサを追加したい
2. ユーザを追加したい
3. ユーザパスワードを変更したい
4. データ活用サイトの表示設定を変更したい
5. メール通知を設定したい

4-1. センサの追加

センサを追加する場合は、同種のセンサを追加する場合と、異なる種類のセンサを追加する場合で、センサの追加方法が異なります。次ページより詳細を説明します。

■ 同種のセンサ = 提出済みインタフェース仕様書と同じデータ項目のセンサ

- 富山市にセンサ追加の連絡をしてください。
その後、実証実験事業者にて各サービスの設定画面でセンサを追加してください。

■ 異なる種類のセンサ = 提出済みインタフェース仕様書と異なるデータ項目のセンサ

- 富山市にセンサ追加の申請を行った後、富山市で環境設定を行います。

4-1. センサの追加

■ 同種のセンサ = 提出済みインタフェース仕様書と同じデータ項目のセンサを追加する場合

1. スマートシティ推進課に下記をメールでご連絡ください。
 - ① 事業名
 - ② 追加するセンサのエンティティタイプ名
 - ③ 追加するセンサの数
 - ④ 送信間隔、1回の通信で送られるデータ件数
2. データ利活用基盤との接続
→同種のセンサと同じ宛先へ接続
3. センサの接続結果の確認
→FIWARE-APPにアクセスし、センサの接続状況とIDを確認
4. ダッシュボードに追加
→アイテム設定を追加(マニュアル:データ活用サイト参照)
同種のセンサの設定内容を基に、アイテムを追加してください。
データID(上記3で確認したID)・履歴、緯度経度はセンサ毎に設定内容を変更してください。

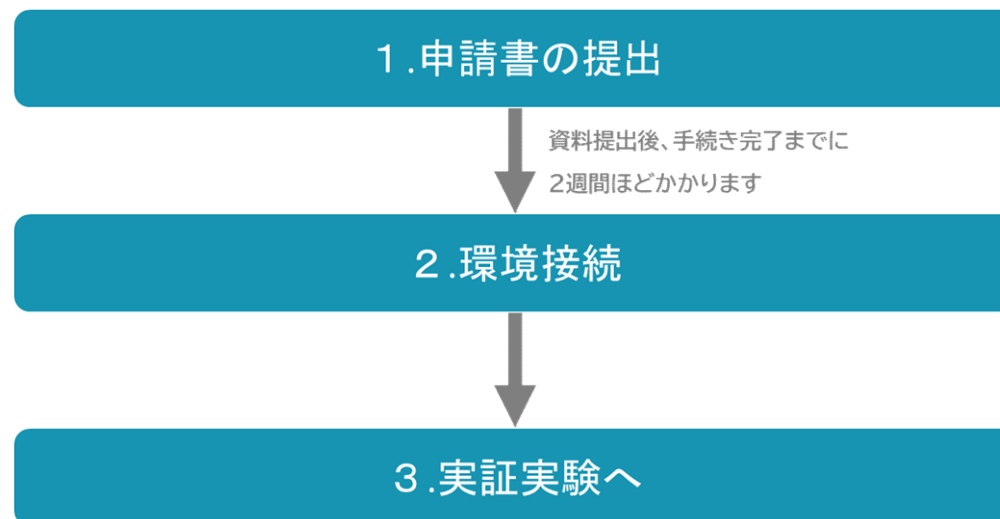
4-1. センサの追加

- 異なる種類のセンサ = 提出済みインタフェース仕様書と異なるデータ項目のセンサを追加する場合

以下2つの資料を提出してください。

- ①ダッシュボード表示設定書
- ②インタフェース仕様書

提出後は、「3-1. 採択から実証実験実施までの流れ」と同じフローです。

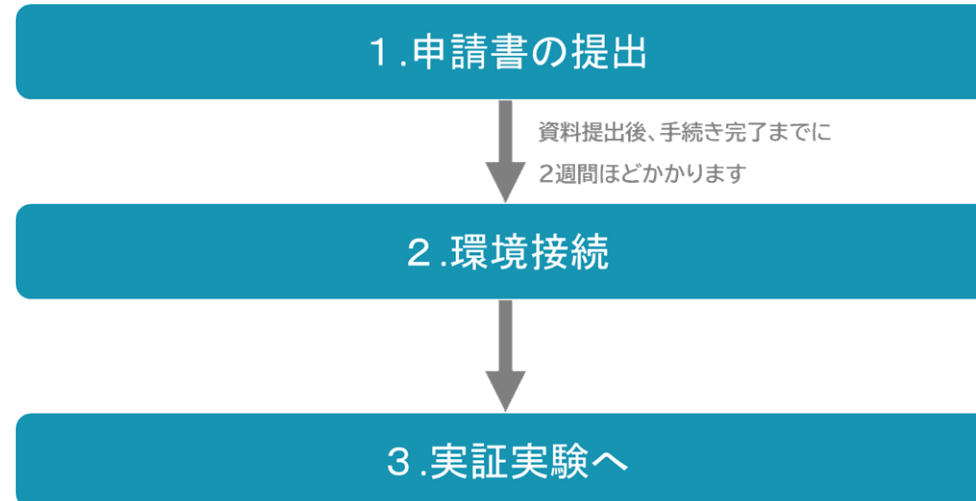


4-2. ユーザアカウントの追加

ユーザアカウントを追加する場合は、以下1つの資料を提出してください。

①ユーザアカウント利用申請書

提出後は、「3-1.採択から実証実験実施までの流れ」と同じフローです。



4-3. ユーザパスワードの変更

データ活用サイトのログイン画面からパスワードを変更することができます。
詳しくはマニュアル「データ活用サイト」の「パスワードを忘れたら」をご確認ください。

データ活用サイト

ログイン

① パスワードを忘れましたか？

データ活用サイト

パスワードをリセットする

② ユーザー名を入力

コードを送信

サインインに戻る

データ活用サイト

パスワードをリセットする

③ コード

④ 新しいパスワード

⑤ パスワードの確認

⑥ 送信

コードを再送信

①[パスワードを忘れましたか？]をクリック。

②[ユーザ名を入力]にメールアドレスを入力し[コードを送信]をクリック。
リセットに必要なコード(Password)が記載されたメールが届きます。

③[コード]にメールに記載されていた“Password”を入力。

④[新しいパスワード]に新パスワードを入力。

⑤確認用に[パスワードの確認]にも同じ新パスワードを入力。

⑥[送信]をクリック。
届いたメールの仮パスワードを使用してログインしパスワードを変更して下さい。

4-4. データ活用サイトの表示設定の変更

データ活用サイトに編集権限を持ったユーザでログインすることで表示設定を変更することができます。

詳しくはマニュアル「データ活用サイト」の設定編をご確認ください。

例えばこんなことができます

- グラフ表示の設定変更
 - ✓ Y軸の目盛り、最大値最小値、正常値の範囲の設定
 - ✓ しきい値の線を引く
 - ✓ CSVのダウンロード項目の変更
- アイコンの変更
- 位置情報付CSVファイル、Shapeファイル、GeoJSONファイルの登録
- 画像リンクや登録

4-5. メール通知の設定

FIWARE-APPに編集権限を持ったユーザでログインすることでメール通知を設定することができます。詳しくはマニュアル「FIWARE-APP」の「メール通知をする/しないを設定する」をご確認ください。

5. 年度途中の実証実験終了について

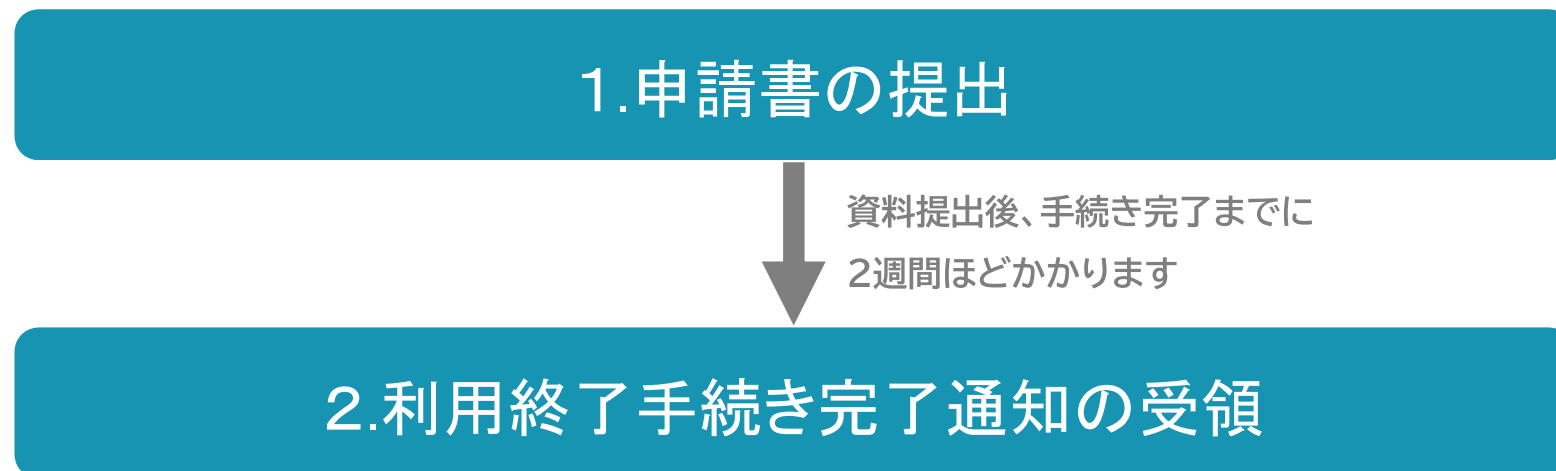
5-1. システム利用終了申請を行う

年度途中に実証実験を終了する場合は、以下の資料を提出してください。

①システム利用申請書

提出後のフローは以下の通りです。

なお、実証実験は原則2月末までで終了しますが、希望される場合は次年度へ延長の申請を受け付けます。



6. 操作マニュアル、ガイド一覧

操作マニュアル、ガイド一覧

こんなとき	参考マニュアル、ガイド
実証実験公募事業の申請の流れや、概要を知りたい	本書
パスワード初回設定、パスワードリセットしたい	操作マニュアル ― データ活用サイト編
ダッシュボードの設定を変更したい (グラフ表示、アイコン登録、位置情報付CSV登録等)	操作マニュアル ― データ活用サイト編
センサの接続確認、メール通知の設定をしたい	操作マニュアル ― FIWARE-APP編
センサのデータをデータ利活用基盤へ送信する	開発ガイド データ送信編
外部アプリからデータ利活用基盤のデータを取得する	開発ガイド データ取得編

7. 各種申請書の提出・お問い合わせ先

各種申請書はメールで下記までご提出ください。
ご不明点やご質問も下記までお問い合わせください。

お問い合わせ先:

富山市スマートシティ推進課

Tel:076-443-2006

Mail:smartcity-01@city.toyama.lg.jp